

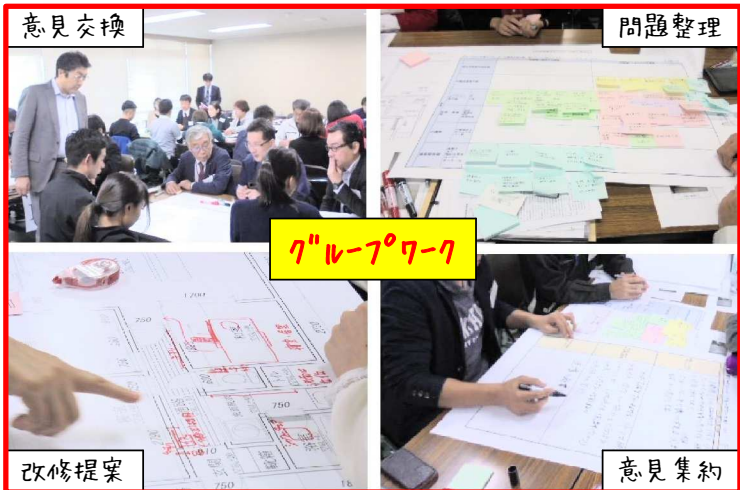
ふくせん 長崎県ブロック
からのお知らせです!



全国福祉用具専門相談員協会

厚生労働省老人保健健康増進等事業（老健事業）

【安心できる住環境の確保に向けた 他職種連携の在り方に関するモデル研修会】 が無事に終了いたしました！



研修会の最後に
全9グループでの
課題発表!
(9通りの改修方針)

- ・令和2年1月17日 長崎県勤労福祉会館
13時30分から17時30分の4時間に瘦り、「安心出来る住環境」についての研修会が開催され当初定員30名程度と想定されていましたが、皆様の関心が高い題材であった事もあり、最終参加者数は50名になりました!
- ・研修会の前半は、(株)バリオン介護環境研究所 金沢氏が講師を務め、住環境の確保における福祉用具の利用と住宅改修、各職種の専門性とその役割について再確認し、その後、金沢氏が携わった事例を通じて、再度他職種連携の重要性を確認しました!
- ・研修会の後半は課題に対しての各専門職個人としての考えを整理し、その考えをグループで集約し、住環境整備の方針を決めていきました。
- ・今回の研修会の参加者には、福祉用具専門相談員の他に、ケアマネジャー、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士の方々に加え、弁護士、二級建築士、福祉住環境コーディネーター(1級、2級)など、幅広い職種の方がいらっしゃいましたので、グループでは、非常に面白い視点でのディスカッションが行われていました!

今回の研修で感じた事は、各職種に求められている役割を理解・共有し、各個人の専門性を踏まえて、他職種と意見交換をする事で、他職種連携により、住環境の提案を行う事の必要性、重要性を体感出来たので、今後の家屋チェック等の実務で活かしたいと思いましたが、自分自身の専門性をこれからも高めていかなければいけないという危機感を感じました。